

MONO

こいつはなかなかやるグッズだ。

文房具を最近ではステイショナリーと呼ぶ。いかにも洗練された。というお店が京都にもポツリポツリとでき始めている。思うに、金余り現象とそれとともなう精神的余裕、さらに、ファンシーグッズの洗札をうけた子供たちが大きくなったことが、文房具をステイショナリーとよばしめているのではなかろうか。ホッチキスひとつとってもこうである。このクリップレス、名前の通りピンがいらぬ。それにこの大きさ。机になじむ大きさである。何の変哲もない型。機能性+美しさ+安心感。これが日本製であるという。ヒットした携帯用小型文房具セットといい、イタリア、イギリスに追いつき追いこす勢いである。クリップレスは定価2300円。問い合わせ☎075・3616234 よんもくや



イタリア忍術奥義!? アクワウオーク

世をあげての忍者ブーム、そのブームに乗じて登場したのがこのイタリア製忍者養成ギブス“アクワウオーク”——てなことはない。しかし、このアクワウオークさえあれば水上を走ったり、歩いたり、滑ったり出来るのである。おまけに特殊プラスチック製で軽量、持ち運ぶ時は簡単に内に収納出来るというスグレモノ。これで驚いてちゃあ、にいさん、ねえさん、まだまだ青い。この2本のスキー板はストックで簡単にレバーひとつで連結して筏にすることが出来、川下りまでやれてしまうのである。

今までのマリンスポーツはどうしても、年齢層が限定されていたように思う。サーフィンしかり、水上スキーしかり、最近ブームのスキューバダイビングにしても、子供や年寄りには無理だ。カヌーもテクニックがかなり要求される。その点、このアクワウオークは、各年齢層に応じた楽しみができる。上にあげたプレーの仕方以外にも、いろんな可能性があるのではないだろうか。ただ、私個人としては、あくまで“遊技用”として使用してほしい。だって、満員の通勤電車を尻目に、背広にネクタイ姿のおじさんが、賀茂の川面をスイスイと進んでいくというシュールな光景に不気味さを感じない人はいないのではなかろうか。定価18000円であなとも忍者になれる。問い合わせ☎075・3616234 よんもくや

